



minä perhonen + 百草 つくりの回生 IX. 「山を抜けて」

第一部 2023.4.28 FRI — 5.7 SUN
第二部 2023.5.13 SAT — 5.28 SUN

11:00—18:00
休廊日: 5.17 WED, 23 TUE
デザイナー 皆川 明 在廊日: 4.28 FRI—30 SUN

会期中一部事前予約制(4.16 SUN 10:00より予約開始)
- 4.28, 29, 30 / 5.1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 13, 14 終日予約制
- 5.20, 21 14:00以降入場自由
- 上記以外は入場自由
詳細は特設サイトをご覧ください



イベント（詳細は特設サイトをご覧ください）

トオクのトーク「百問百問」

小さな空間で密着感ライブ感を楽しんで頂く、恒例のチカクのトークに対し、遠くのより多くの人々にお届けできる機会が作れないか、と考えました。しかもトークでありながらもコミュニケーションを取れる方法をと、全て質問形式の異例のトークです。トオクのトークでは、皆川さんへの質問を受け付けます。チケットをご購入の際、備考欄に質問をご記入ください。

日時: 4/28 (金) 18:30-20:00
登壇: 皆川 明 (聞き手 安藤 雅信)
場所: パロー文化ホール 小ホール
定員: 300名
対象: 中学生以上

ご予約開始日 4/6 (木) AM 10:00より
(thank you very badge付き)

チカクのトーク

2016年「つくりの回生V」より始まった「チカクのトーク」。4年ぶりに、at the table est 2015 中條順子さんのお料理とドリンクをお楽しみ頂きます。通常はヴィーガン料理ですが、今回はヴィーガン以外の食材もお楽しみください。久しぶりに美味しいお料理と飲み物を頂きながらの会、和気藹々とお話が弾むことでしょう。

日時: 4/29 (土) 18:00-19:30
場所: ももぐさカフェ
定員: 25名
対談: minä perhonen 皆川 明、百草 安藤 雅信
ご予約開始日 4/14 (金) AM 10:00より

出張カフェ・販売(庭・ももぐさカフェにて)

○庭 ・カフェ
4.28 fri
○ふじっこばん | 国産小麦の自家製酵母パンとお菓子
○fruits cafe LUPOS | 珈琲、生搾りジュース、焼菓子、ケーキ
●中條順子 at the table est 2015 | vegan meal&sweets, drink

4.29 sat
○パン屋 二兎 | 自家培養発酵種で醗す毎日のパン
○fruits cafe LUPOS | 珈琲、生搾りジュース、焼菓子、ケーキ
●中條順子 at the table est 2015 | vegan meal&sweets, drink

4.30 sun
○ふじっこばん | 国産小麦の自家製酵母パンとお菓子
○タイベイヤオツー | ルーロー飯、台湾スライスチャイ
●煤と棲む | 手廻し焙煎珈琲と菓子

5.13 sat, 14 sun
○mimosa | クラシックドーナツ、焼菓子
○MIROKU COFFEE | 自家焙煎珈琲、焼菓子
●Teryori Oya | 旬菓のキンパとキッシュ、旬の果物で甘味とドリンク

チカクのトーク



ワークショップ「わたしだけの紐付き袱紗をつくろう」
紐付き袱紗に、minä perhonen piece, の布でパッチワークを施し自分だけのオリジナル袱紗をお作りいただけます。物を包んだり掛け布、敷き布、と多様に使える紐付き袱紗。今回のワークショップでは、紐付き袱紗の「物を包む」用途を楽しく想像できるスペシャルなセットをご用意しました。chouchoの舞うMITANIカップ (皆川 明×安藤 雅信) と、その中に取まるVOSTOK laboの焼菓子をオリジナルの紐付き袱紗でくるくる包みピクニックに。いただく時には膝に広げて敷き布に。皆川 明さんの直接のご指導を受けられユニークな発想に触れられる貴重な機会です。

日時: 4/30 (日) 10:30-13:00 (10:00 受付開始)
場所: パロー文化ホール 展示室A
定員: 50名
持ち物: 基本的な裁縫道具一式 (※必須: 縫い針、まち針、刺繍糸、糸切りバサミ、布切りバサミ)
講師: minä perhonen 皆川 明
説明: 百草 安藤 明子

ご予約開始日 4/15 (土) AM 10:00より



山を抜けて

雨や雪が山の土壌に染み込み、やがて湧き水となって地上へととうとう湧き出し、生命に恵として循環するのに数十年から100年近くかかるという。それまでの時間、ゆっくりと土壌で濾過されミネラルを蓄えて、澄んだ湧き水となっていく。デザインも姿、形になるまで、社会の中にある多様な連鎖を通り、デザイナーの思考と想像の過程で材料や技術と出会いながら、物としての存在を得る。そんな澄んだ湧き水のような存在を、この『つくりの回生』では考えていきたい。

「つくりの回生」の拡がり

「売り手良し・買い手良し・世間良し」の三方良しは、日本ではよく知られた近江商人の基本思想である。これに皆川さんと僕は共感し、作り手を加え、四方良しにして「つくりの回生」のコンセプトとした。一回目の2010年から13年が過ぎ、社会はコロナ禍とウクライナ問題で大きく変化し、立ち止まって地球・資源・働き方について考え、地方で農作を始めた人は確実に増えたような気がする。ミナベルホネンは創立時から三方良しを実践してきて、ファッション業界で異色の存在である。リーダーであった皆川さんは社長業を田中景子さんに譲り、培ってきた思想をミナベルホネン以外の組織にも広げようとしている。百草も多くのアドバイスを頂いているが、革命的とも思える皆川さんの思想を実践していくのにハードルは高い。前回から始まったやや難ありの器に絵付けをして再生させる「A LITTLE B / LET IT B」は僕らを勇気づけ、今展では更にそれを発展させた絵付け作品を皆川さんは制作してくれた。作り手は考えていることを形にして世に送り出しているようで、実は社会からの要望への答えもそこに含まれている。ミナベルホネンが培ってきた30年近い革新的な歩みは、社会の要望を汲み取って形にしたものだ。この思想への共感と共に理解され、拡がっていくことを願って止まない。

つくりの回生について



A LITTLE B LET IT Bについて



出品内容

*minä perhonen
thank you very badge / piece, bag / basket bag / bucket bag / book cover usagi cushion / onomekaman / inukuma / Quzyla / kotori / ハギレセット パニーニバッグ / ファブリックボード / インテリアファブリック / ブラケット / ラグ タオル / トレイ / 手ぬぐい / サーモマグ / マスキングテープなど (以上、第一部中心に出品)
- frost gardenワンピースなど百草先行発売の洋服
- 2023 spring / summer collectionより
ブラウス / ドレス / スカート / パンツ / ニット / カットソー / デニム / コート
靴下 / バッグなど (第二部に出品)

*minä perhonen × momogusa | 百草サロン
- 百草サロンのための新作テキスタイル “run run run” の百草サロン
- インテリアファブリックを用いた百草サロン
- 様々な minä perhonen テキスタイルから生まれた限定サロン

*皆川 明 × 安藤 雅信 | アートピース・器
- A LITTLE B / LET IT B, ちょっとマット / PLACE MAT
- その他、コラボレーションの器

お知らせ

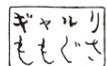
- minä perhonen デザイナーの皆川 明さんは在廊期間中、たくさんのお客様とコミュニケーションを取るために在廊させていただきます。皆様が気持ち良く展示をお楽しみいただけるよう、サインのお願いはお断りさせていただきます。恐れ入りますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。
- ギャラリー内では展示の都合上、お手荷物をお預かりしています。保管場の混乱を防ぐためにも、小さくまとめたお手荷物でお越しいたきますようお願いいたします。
- 駐車場に限りがあり周囲に有料パーキング等がないため、できるだけ乗り合わせていただくか公共交通機関にてお越しください。
- 近隣は住宅地です。町内は高齢の方々も多いため、20km/h制限にて通行をお願いいたします。

momogusa cafe(出張カフェ開催日以外)

minä perhonen + 百草 つくりの回生 限定軽食メニューやその他、常設メニューをお楽しみください。
11:00-18:00 (L.O 17:30) メニュー・席の予約不可

schedule

5.29 mon-6.2 fri 展示替えの為休廊
6.3 sat- 常設展示



〒507-0013 岐阜県多治見市東栄町2-8-16
tel. & fax. 0572 21 3368
https://www.momogusa.jp
多治見ICより車で10分 / JR多治見駅北口よりタクシー 12分
(JR多治見駅より東横バス13分「高田口」下車1km)

皆川 明

皆川 明 | ミナベルホネン デザイナー

1995年に「minä perhonen」の前身である「minä」を設立。ハンドドローイングを主とする手作業の図案によるテキスタイルデザインを中心に、衣服をはじめ、家具や器、店舗や宿の空間ディレクションなど、日常に寄り添うデザイン活動を行っている。デンマークのKvadrat、スウェーデンのKLIPPANなどのテキスタイルブランドへのデザイン提供、新聞・雑誌の挿画なども手掛ける。

minä perhonen (ミナベルホネン)

1995年、デザイナー皆川 明により設立。自然の情景や社会への眼差しから想像を広げ、丁寧につくり進めたテキスタイルデザインを特徴とするブランド。衣服に始まり、インテリアへとデザインの幅を広げながら、日々のための長く続くものづくりを目指す。



